

愛知県漁業振興計画の概要

計画期間：2021～2030年度（10年）



2025年の目標 産出額



410億円

愛知の水産の現状（10年前との比較）

生産量 75,514t （23% ↓）

海面漁業 59,934t （15% ↓）

アサリ類 3,380t （79% ↓）

海面養殖業 9,744t （49% ↓）

内水面漁業・養殖業 5,836t （34% ↓）

産出額 389億円 （3% ↓）

海面漁業 173億円 （15% ↓）

海面養殖業 36億円 （37% ↓）

内水面漁業・養殖業 181億円 （27% ↑）

漁場生産力の低下により、アサリなど水産資源が減少し厳しい状況が続く。

課題

漁場生産力の強化

水産資源の増大

重点施策

1 豊かな水産資源を育む海づくり

（1）新しい漁場づくり

- 干潟・浅場造成の拡充
- 砕石や砂利を活用した貝類増殖場の造成
- 干潟や藻場の機能保全活動への支援
- 魚礁漁場の機能維持

（2）栽培漁業の強化

- 新規魚種の生産や既存魚種の増産
- 栽培漁業センターの施設整備

（3）栄養塩環境等の適切な管理

- 漁業生産に必要な栄養塩量の解明
- 漁場環境監視体制の整備

（4）新たな資源管理への対応

- 科学的な知見に基づく水産資源の適切な管理

（5）水産技術の高度化

- 二枚貝類等の増養殖技術の開発
- ノリ養殖における温暖化や食害対策等の技術開発
- 内水面漁業・養殖業の振興に向けた技術開発
- 試験研究体制の充実

経営体数 海面漁業・養殖業

経営体数 1,924経営体 （24% ↓）

就業者数 3,373人 （32% ↓）

50代以上の漁業就業者：7割以上

高齢化進行と就業者不足が続いており、その大きな要因は漁業収入の減少による経営悪化。

担い手の確保

2 漁業者が儲かる経営体づくり

（1）養殖業の振興

- 新たな養殖業への支援
- ノリなど藻類養殖業への支援強化

（2）漁業者の設備投資への支援

- 漁船導入への支援
- 金融支援の強化

（3）漁業の担い手の育成

- 新規就業者やリーダーの育成

（4）県産水産物や水産業のPR

- 子どもたちへの啓発普及
- 産地と連携した情報発信

漁協経営 沿海漁協

販売取扱高 147億円 （33% ↓）

正組合員数 1,426人 （35% ↓）

水産改革が進む中、厳しい時代を乗り越えるための新たな漁協経営体制の構築が課題

漁協経営の強化

3 未来につながる水産業の構造改革

（1）漁協経営の合理化

- 新たな時代に即した漁協経営体制の構築

（2）漁港施設整備の推進

- 県管理漁港・港湾の整備の推進
- 市町管理漁港の整備の促進

（3）施設整備への支援

- 地域の拠点となる施設整備への支援強化
- 新たな市場流通システムの構築